

前回協議会で出された意見等（要旨）

A 今後の協議の進め方について

- 統合を進めるという前提で話し合ってきた。もう一度整理して、小学校から話し合うということはよいと思う。
- これからもっと児童数が減っていくのであれば、ぜひ小学校の協議から進めていただきたい。
- 小学校では現状通り5校残すのか、統合するのかをまず考えてみるのがよいのではないか。
- 中学校については、話し合いを進めていく中でいろいろ考えていくことになるだろう。
- 現在は、「様々な視点から適正配置の必要性」を「協議」の段階であり、「統合を進める」に入る段階で、YESなのかNOなのかを確認する必要がある。

確認された事項 まず「小学校について統合を進めるかどうか」について協議していくこととする。

B 適正配置の必要性

- 適正配置された中で先生方が増えることが、子どもたちのためにより良い環境となるのではないかと思う。
- 千城台地区は、図書館やコミュニティセンター等の公共施設等もきちんと整っているなど恵まれ、千城台の町を活性化していこうという声も上がってきている。統合に反対であるということではなく、いろいろなことを考えて今この時点ではどうなのかということを再度考えてみる必要があるのではないかと思う。

C 通学に関する事柄

- 千城台旭小では金親町から通う子どももおり、実際に30分近くかけて登校している。
- 千城台東小の学区である御成台の子どもたちも、歩いて登校している。
- 且谷町や下田町、谷当町から通学している児童は、ほとんど親が送り迎えをしている。更科小学校の元下田分校の学区であり、遠い地域であるが、ほとんど送り迎えをしているので、今までに通学についての苦情を耳にしたことはない。

D 学区の「ねじれ」について

- 千城台東小の卒業生は千城台西中と千城台南中の2校に通っている。東小としては、学区変更などをして、どちらかに決めていただいた方がよい。
- 「学区のねじれ」については、この協議会の中でぜひ話し合っていたらいいと思う。

E 先行地区（真砂地区・高洲地区）の協議会について

- 何を根拠に統合を決定したのか教えていただきたい。
- 協議会での話し合いのポイントや、「こういう資料を使って適正配置の協議を進めていった」というリストなどを資料として提示していただきたい。
- 跡施設となる学校についてはどうなるのか教えていただきたい。
- 各地域で出された要望書とはどういうものなのか。

F 本協議会の協議の周知について

- 各学校の事務室に置かれている「協議会の議事要旨が閲覧できるファイル」はほとんど見に来た人はいないとのことである。
- 協議会の中で提示された資料等を（各団体に）示すことも大切な報告である。